

おいしいものを食べるといふ事は

荒川西小学校 六年 新井 魁月

ミンミン鳴くセミの声と、ラジオから聞こ  
える音楽、葉っぱを切った時の緑のにおい、  
服の中を汗が流れていくのを感じました。

ぼくの親戚はいちごとぶどうの農園をして  
います。おばあちゃんとおかあさんが仕事  
に行っていて、お母さんは真夏なのにいちご  
の世話をしています。今度のシーズンのいち  
ごの苗を育てているのです。ぼくは少しだけ

だけれど、いつも苗の外側の葉っぱを切って  
中心の葉っぱに太陽の光が当たるようにする  
作業を手伝っています。今年も暑い日だった  
ので、大変だなあと感じました。

二年生の時にぶどうを育てる一年間の仕事  
四年生の時にいちごを育てる一年間の仕事に  
ついて、一研究で調べました。どちらの仕事  
も、それぞれ本当に大変な仕事だと思いまし  
た。それを同時進行で育てているのです。ぶ  
どうを育成している間に、いちごの苗を、い

ちご園を開園している時にぶどうの花切りが  
始まったりと、時期を間違えてしまうと大変  
なことになるといふ事がよくわかりました。

農園の方に話を聞きました。ぶどうは、人  
の力ではコントロールができない部分が特に  
大変で、「天気」だけはどうする事もできな  
い。雨量や気温、天候でぶどうへの影響が変  
わってくるという話を聞きました。いちごは種類  
や成長によって水を吸う量が違うので水の管  
理が難しい。病気や害虫にもとても気を付け  
ていると話していました。

いちごもぶどうも同時に育てる事も大変で  
すが、天気や害虫や病気は人の力ではどうす  
ることのできないもので、農業は本当に大変な  
仕事だなぁと思いました。どんな農作物もぼ  
くたちの口に入るまでに、たくさん人の作業が  
あって、たくさん人の手で育てられている  
ことがわかりました。食べられる事が当たり  
前だと思っっているけれど、もっと感謝の気持  
ちで大切に食べようと思いました。